

## 報告書抄録

ふりがな	もりおかじょうとおくるわあと							
書名	盛岡城遠曲輪跡							
副書名	第15次発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	室野秀文 神原雄一郎 佐々木紀子							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 TEL019-635-6600							
発行機関	平井明子 盛岡市教育委員会							
発行年月日	2015年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	世界測地系				
もりおかじょうとおくる わあと 盛岡城遠曲輪跡	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 しんめいちよう 神明町1-1	3201	LE06 - 2389	39° 42' 3.9"	141° 9' 26.1"	2014. 7. 17 ~ 2014. 8. 31	503 ㎡	共同住宅 の建築 及び造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
盛岡城遠曲輪跡 (第15次調査)	散布地	縄文時代中期～後期	竪穴建物跡1		縄文土器・石器		盛岡藩主南部 氏居城盛岡城の 総構えともいう べき遠曲輪の土 塁と堀を中心に 発掘調査を実 施。土塁の規 模、構築方法、 暗渠排水施設が 明らかとなっ た。	
	集落	平安時代	土坑2・溝4		土師器坏、高台付坏、 内外黒色高台付坏、須 恵器、			
			柱穴及びピット15		瀬戸・美濃灰釉皿、唐 津小皿、			
			戦国時代		瀬戸・美濃、信楽、 京、肥前、備前、京、 相馬、益子等の近世陶 磁器類、木製品、石製 品、金属製品、硝子 壺、塑像、			
	城郭	戦国時代末～近世	土塁1・堀1		瀬戸・美濃、信楽、 京、肥前、備前、京、 相馬、益子等の近世陶 磁器類、木製品、石製 品、金属製品、硝子 壺、塑像、			
			土坑5		京、肥前、備前、京、 相馬、益子等の近世陶 磁器類、木製品、石製 品、金属製品、硝子 壺、塑像、			
暗渠排水溝1			京、肥前、備前、京、 相馬、益子等の近世陶 磁器類、木製品、石製 品、金属製品、硝子 壺、塑像、					
	近代	排水溝1		京、肥前、備前、京、 相馬、益子等の近世陶 磁器類、木製品、石製 品、金属製品、硝子 壺、塑像、				
		削平地1		京、肥前、備前、京、 相馬、益子等の近世陶 磁器類、木製品、石製 品、金属製品、硝子 壺、塑像、				
		石列5		京、肥前、備前、京、 相馬、益子等の近世陶 磁器類、木製品、石製 品、金属製品、硝子 壺、塑像、				
要約	中津川東岸の自然堤防（中州）に立地する縄文時代散布地、平安時代集落跡、近世城郭跡。遠曲輪の土塁と下層から戦国時代末から近世初頭の陶磁器が出土しており、土塁と堀構築の上限は16世紀終末ごろ。西側郭内は低い土地で、土塁下に暗渠の木樋を通し、低地の水を外の堀へ排水している。城郭期、城郭期以後の遺構と遺物包含層からは、中国染付、国産の瀬戸・美濃、相馬、益子、京焼の陶器類、肥前の染付磁器類、木製品、石製品、金属製品、銭貨が出土している。							